

水稲用一発除草剤

トリニテイド[®]

1キロ粒剤・フロアブル

®は登録商標

ノビエに対する長期残効！
SU抵抗性雑草、多年生雑草に有効！

1キロ粒剤
1kg袋
12kg袋



フロアブル
500mL



ISK 石原バイオサイエンス株式会社



AVH-301

イフエンカルバリン

有効成分名	HRAC	含有量	
		1キロ粒剤	フロアブル
イブフェンカルバゾン	15	2.5%	5.0%
テフリルトリオン	27	2.0%	4.0%
ペンシルフロンメチル	2	0.75%	1.4%

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
1キロ粒剤	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、クログワイ、シズイ、オモダカ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg /10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布または無人航空機による散布
フロアブル	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ /10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布、水口施用または無人航空機による滴下
フロアブル	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ /10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布または無人航空機による滴下

各有効成分を含む農薬の総使用回数：イブフェンカルバゾン…2回以内 テフリルトリオン…2回以内 ペンシルフロンメチル…2回以内

田植同時処理のポイント

- 土の戻りが極端に悪い圃場では田植同時処理はさけてください。
- 田面の露出に注意してください。
- ひたひた状態の湛水状態で移植してください。
- 適正な移植深度となるよう田植機を調整してください。
- 移植後は速やかに入水し、7日間は止め水管理してください。

使用例（移植水稲）



使用上の注意事項

- 本剤の使用時期は、移植水稲に使用する場合はノビエの2.5葉期まで、直播水稲に使用する場合は稲1葉期からノビエの2.5葉期までなので、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がフレがでるので、必ず適期に散布してください。各種雑草の散布適期は次の通りです。

	1キロ粒剤		フロアブル	
	移植水稲	直播水稲	移植水稲	直播水稲
ホタルイ	2葉期まで		2葉期まで	発生始期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで		2葉期まで	
ミズガヤツリ	2葉期まで		2葉期まで	発生始期まで
ウリカワ	2葉期まで	発生始期まで	2葉期まで	発生始期まで
クログワイ	発生始期まで		発生前～発生始期まで	
オモダカ	発生始期まで		発生前～発生始期まで	
シズイ	草丈3cmまで		草丈3cmまで	
ヒルムシロ	発生期まで		発生期まで	
セリ	再生始期まで		再生前～再生始期まで	
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで		発生前まで	

- オモダカ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合もあるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一となるように代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布にあたっては水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態（湛水深3~5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないようにしてください。自然減水により田面の一部が露出する間際になったら、水尻は止めたままにし、通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。また、入水は静かに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。

- ①砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
- ②軟弱な苗を移植した水田
- ③極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- ④散布後に高温傾向が続くと予想される時



- 無人航空機で散布（1キロ粒剤）、滴下（フロアブル）する場合は次の注意を守ってください。

 - ①散布は散布機種種の散布基準（1キロ粒剤）、滴下は使用機種種の散布基準（フロアブル）に従って使用してください。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。（1キロ粒剤）
 - ③滴下にあたっては散布装置のノズルを使用しないでください。（フロアブル）
 - ④粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラ（スピナ）の回転数を低速に調整してください。（1キロ粒剤）
 - ⑤作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。（フロアブル）
 - ⑥散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。（1キロ粒剤）
 - ⑦隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、滴下は行わないでください。（フロアブル）
 - ⑧水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
 - ⑨滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。（フロアブル）
 - ⑩滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。（フロアブル）

- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深3~5cm）に達した時に必ず水を止め田面水があふれないように注意してください。（フロアブル）
- 本剤を直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件下では、薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 梅雨期等、散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意してください。
- 散布田の水田水を他の作物に湛水しないようにしてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また、使用した機器等は水稲用薬剤以外には使用しないでください。（フロアブル）
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は2024年7月時点での知見に基づいて作成しています。

